

ごみ減量・もったいないねット山形

ニュース

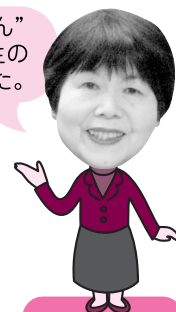
平成23年11月発行

広報部会

減量かなえちゃん

すすむくんの
パートナーキャラクター決まる!

これまで、本会のイメージキャラクターとして、一人で頑張ってきた“すすむくん”にパートナーが誕生しました。ネーミング募集にあたっては、山形市内の小学生の皆さんから、1,220点という大変多くのご応募をいただきありがとうございました。

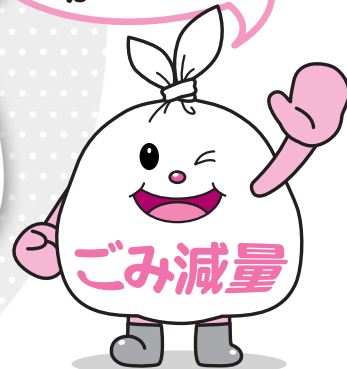


会長：
かんの ときこ
菅野節子

ごみ減量が
かなう!
リサイクルが
かなう!!

ほくに
パートナーができたよ!
二人で一緒に
がんばるよ!

リサイクル



減量すすむくん

デザイン協力：
山形デザイン専門学校[本会会員] 後平優子先生

9月20日に、ネーミング選考会が開催されました。「減量かなえちゃん」の名付け親である、最優秀賞の児童の皆さんの他、次のとおり、各賞を決定いたしました。受賞おめでとうございます。

最優秀賞

「減量かなえちゃん」

本沢小1年
あやの 設楽 彩乃 さん
南沼原小2年
あかりた 揚田 桜来 さん
第四小3年
うえた 植田 凱登 さん

優秀賞

「減量あゆみちゃん」

宮浦小5年
よしだ 吉田 まとい さん
西小6年
ほすや 細矢 風花 さん

「減量へるんちゃん」

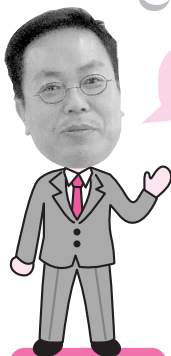
鈴川小2年
さいとう 齊藤 大輝 さん
本沢小4年
あわの 栗野 大地 さん

「減量のぞみちゃん」

鈴川小3年
おくやま 奥山 太陽 さん
第三小4年
いがらし 五十嵐 心咲 さん
山寺小4年
はらだ 原田 凜音 さん
双葉小4年
わたなべ 渡邊 菜 さん

学校賞

第一小学校	山寺小学校
第八小学校	東沢小学校
南小学校	南沼原小学校
西小学校	南山形小学校
東小学校	本沢小学校
鈴川小学校	村木沢小学校
大郷小学校	双葉小学校



部会長：
むらなか ひでお
村中秀郎

ごみ減量 学習部会

部会長：
さいとう 齋藤 淳



リサイクルツアー

を実施しました



使用済み自動車と資源ごみがリサイクルされる過程を
学ぶリサイクルツアーに総勢68名が参加しました。



ごみ減量の認識を新たに！

東根市にある「(株)山形県自動車販売店リサイクルセンター」では、普段なかなか見ることができない、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを軸に、使用済み自動車が適正処理されていく工程や各種車のパーツ等の保管庫の見学研修を行いました。

また、中古タイヤ、オーディオ等をはじめ、エアバッグとシートベルトでできたエコバッグ等の特価販売する「エコショップ・カーセンター東根」を楽しく見学しました。

見学後は、「みちのく屋台こんにゃく道場」で経営する「Eco・エコ農場」で栽培された夕顔等を使ったお弁当をおいしくいただき、同農場の活動等も紹介していただきました。

午後からは、山形市の「立谷川リサイクルセンター」に移動し、各ご家庭から出されたペットボトル、空き瓶、空き缶等の資源ごみが、機械による工程と手作業に頼る分別を経て、リサイクルされていることを学習しました。

**(株)山形県自動車販売店
リサイクルセンター**

●山形事業所 ●エコショップ・カーセンター東根
山形県東根市一本木一丁目5番28号 TEL. 0237-42-2411
ホームページアドレス：http://www.yauto-rc.jp/

リサイクルツアー同行記

同行取材：広報部会 今野 久子

「センターには被災地から1800台の車が運ばれましたが、そのほとんどが処理を終え、3台が残されていました。」目にした車を見ておもわず涙ぐむ会員。家族の手足となって活躍した車が津波でここまで姿形を変えてしまうのでしょうか…。愕然とすると同時に山形にこんなに立派なリサイクル施設が設けられ、さらに細やかな分別作業により、新たな製品に生まれ変わろうとしている状況を見学し「ホッ」とする思いでした。



車の販売と自動車リサイクルを同時進行で取り組む企業の熱の入れように頭が下がる思いでした。

次に、立谷川リサイクルセンターでは、山積みになったペットボトルを見て「うわぁーっ凄い！随分飲んだわねえー」しかし、見学行程が進むに連れて「どうして？」「何でこんな事を！」と見学者の口々から疑問の声が。ペットボトル以外の異物が入っていたり、洗われていなかったり。リサイクルのための分別回収なのに不道德な人もいるものです。ボトルを一本一本手で選別作業する方々のご苦労を是非多くの市民の皆さんに認識して貰いたいと強く感じ、見学を終えました。

生ごみ肥料の学習会 を二日間にわたり実施しました

ダンボール式コンポスト学習会

「生ごみは宝物。土に戻す努力を」をキャッチフレーズに比較的安価で臭いの少ない「ダンボール式コンポスト」による生ごみ肥料の作り方と木枠による堆肥の作り方について、会員、市民、総勢約100名が講師の先生方のお話に耳を傾けました。



講師は、仙台市の市民グループ「仙台生ごみリサイクルネットワーク事務局」のメンバーに勤めていただきました。

EMボカシ容器学習会

EMボカシ容器による生ごみの減量と堆肥化の取り組みを広めるため、「エコ・いではの会」の齋藤良さん、増田栄一さんをメイン講師にお招きし、参加者はお米のとぎ汁発酵液の作り方、並びにEMボカシの作り方を体験しました。なお、参加者の皆さんには、講師よりEMボカシのプレゼントがありました。



(株)エフピコ寒河江工場見学同行記

同行取材：広報部会 荒井 安雄

平成23年9月6日、買い物エコフレンド部会が企画したトレーのリサイクルシステムの研修に同行取材して来ました。行き先は寒河江工業団地内の(株)エフピコです。まず、その敷地の広さにビックリ！ナント4万坪で、東京ドームの約3倍の広さです。

ここでは、トレーtoトレーと呼ばれるエフピコ方式で、店頭回収したトレーを処理、原料のペレットに戻し、エコトレーとしてリサイクルします。これにより、大量のごみ減量はもちろんCO2削減効果がはかられます。近代的なカメラによる透明選別装置は、不適品の非発泡品を早く正確に振り分けますが、手作業による不適品の選別も行われています。

店頭回収ボックスには、不適品※を混在させないで発泡スチロールの食品トレーを確実に洗浄・乾燥して出すようにしなければいけないと痛感しました。

次のURLを検索してみましょう。 http://www.fpc.jp/environment/fpc_recycle.html

※ インスタントめん容器／納豆容器／P&Pと表示されたフィルムがはがせるトレー



買い物
エコフレンド部会

部会長：

なかむらみょうせん
中村明千



「雑がみリサイクル キャンペーン」を実施しました

お菓子の空き箱や包装紙など、紙類のリサイクルを進めるため、市内の小売店で、雑がみリサイクルキャンペーンを行いました。

ごみに捨ててしまえば燃やされて灰になってしまう紙類も、集めてリサイクルすれば、菓子箱や防水シートなどに生まれ変わります。ごみも減って一石二鳥！今後も積極的な取り組みをお願いします。



【実施店舗】

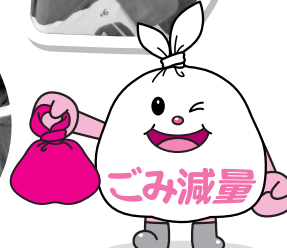
日時	店舗名
6月21日(火)	マックスバリュ(青田店)
6月22日(水)	ヤマザワ(北町店)
6月24日(金)	おーばん(山形嶋店)
6月25日(土)	びっくり市(山形北店)
7月 2日(土)	イオン(山形北店)
7月 9日(土)	ヨークベニマル(大野目店)
7月15日(金)	生協(桜田店)
7月20日(水)	大沼



「風呂敷の 使い方勉強会」

簡易包装キャンペーンやイベントに向け、企画会議の中で『風呂敷の便利な使い方勉強会』を行いました。部会員の長岡慶子さんに講師になっていただき、ワインや菓子箱をきれいに包む方法、風呂敷2枚を使ってリュックサックにする方法など、さまざまな使い方を学びました。

お歳暮の際は、簡易包装に真心を添えて、風呂敷で素敵にスタイルアップしてはいかがでしょうか？





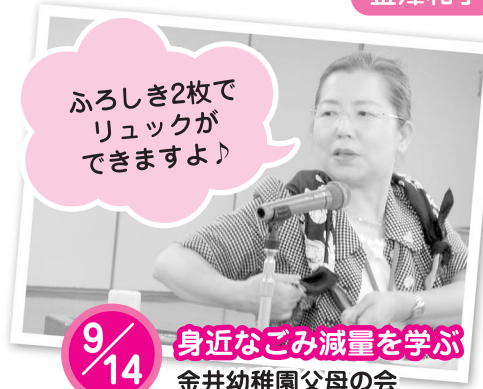
部会長：
かなざわかずこ
金澤和子

ごみ減量推進アドバイザー部会では、公民館や幼稚園、企業のエコ活動クラブ、地域団体の勉強会など、たくさんのごみ減量の勉強会にアドバイザーを派遣しました。山形市民を対象とした、山形市内で行われる勉強会に派遣しています。概ね5名以上であればお申し込みいただけますので、是非お気軽にご連絡ください。



3/8

環境絵本読み聞かせ
ラビットくらぶ



9/14

ふろしき2枚で
リュックが
できますよ♪

身近なごみ減量を学ぶ
金井幼稚園父母の会



8/31

**自作の花器に
エコいけばな**
東北芸術工科大学
いけばな展実行委員会



7/23

エコいけばな夏休み講座
フラワーキッズ夏休み講座
実行委員会



7/6

**ねんりん倶楽部
生活一般の節約術**
中央公民館



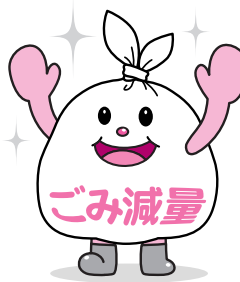
6/7

**少年教育事業
「エコバッグ作り」**
東沢コミュニティセンター



7/28

**ペットボトルで作る
リング飛行機**
千歳コミュニティセンター



すすむくんを
描いてみました!

7/16

チアーズクラブエコバッグ作り
イオン山形北店チアーズクラブ



8/17

マイはしづくり講座
樺沢コミュニティセンター



針のないホチキス
お試し中...

7/13

**チェリアdeカフェ
「ちよっと素敵な文房具」**
チェリアdeカフェ実行委員会

平成23年度



平成23年度
役所で開催
多くの会
推進に関
また、結
災復興義
被災地へお

すずめくんの 『もったいない!』

読句

くりかえし
いまのいれもの
またつかおう



減

えて紹介ひま。

(発生抑制)]
みの約5割(容
装廃棄物です。
繰り返し使用し、
商品の購入を心
いことがごみ



介し、お二人がデザインに込めた思いを語っていただきました。

【おしゃれBOXタイプ】

一人暮らしを始めて、自らゴミの分別をするようになり、気になったのが家にゴミを溜めてから捨てなくてはならないということでした。

そこで、キャップをゴミではなく、貯金のような気持ちで集められるBOXを提案しました。リビングにもキッチンにも置きやすいので、ゴミ分別を生活の一部にしてみたいと思います。



情報計画コース4年
おおば あさみ
大場 麻美さん



【牛乳パックにかぶせるタイプ】

「エコ」といわれているだけで、満足していた。お世話になって頂いた貴重な時間でした。これからも「日常でも言えることで、少しでも「エコ」は出来ません。

誰かの助けに、これからも続けてきた「エコ」。姿が「空」を通じて送られるワクチン。全体に広がるイメージで、エコキ



情報計画コース4年
しらかわ ゆめみ
白川 夢実さん

会員情報

新たに入会いただいた団体・事業者
(H23.3.1~H23.10.31)

団 体

・東北芸術工科大学

事業者

・株式会社ルネサンス スポーツクラブ&スパ ルネサンス山形

会員数(平成23年10月31日現在)

個 人:255名 団 体:32団体 事業者:42事業者

- ・靴の修理 ワールドトップ
- ・株式会社エフピコ
- ・有限会社新東物産
- ・双葉設備工業株式会社
- ・トヨタカローラ山形株式会社
- ・ネットトヨタ山形株式会社
- ・ケーズデンキ山形北本店
- ・株式会社大風印刷



ありがとうございます
ごさいます

「入会案内パンフレット」を リニューアル!!

5R情報
発信部会

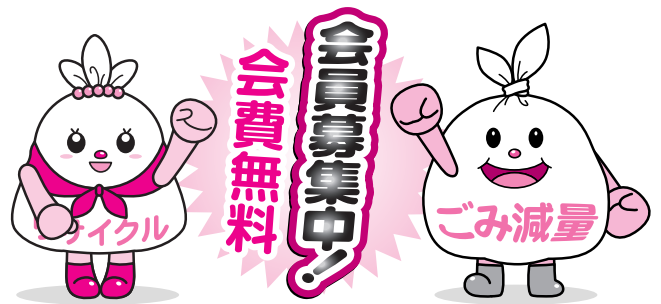


部会長：
すずき たかお
鈴木隆男

5R情報発信部会では、市民の方に対し、本会の活動状況等をお知らせするとともに、一緒に会員となって、ごみ減量の“輪”を広げていくための入会案内パンフレットをリニューアルしました。

パンフレット作成にあたっては、学校法人山形デザイン専門学校【本会会員】の後平優子先生にご協力をいただき、この度誕生した「減量かなえちゃん」が表紙に登場し、かわいいデザインとなりました。また、背景の5色の虹は、5つの部会を表しています。

会員の皆さん、ぜひ、このパンフレットをご活用の際は、本会の取組みを、お知らせの方に紹介いただき、ごみ減量の輪を広めましょう。



※パンフレットは、事務局窓口にありますので、ご希望の方はご連絡ください。



TAKA2氏の 3R Recycle Reform Remake 生活向上術

第3回

使い捨てをやめてみる

ティッシュをはじめ使い捨てにするものというのは、清潔感もあって確かに心地良いな。しかしこれを、繰り返し使える物に代えると、エコな暮らしが広がるぞ。

① 布地ティッシュ

着なくなったシャツや、古い手ぬぐい・タオルなどは、ちょうどティッシュの大きさに切って、ティッシュの空き箱に入れておく。これを台所やトイレなどにおいておき、サッと拭きたい時にすかさず使うと便利。特に日本手ぬぐいは、台所の油汚れをよく落としてくれるので、重宝する。汚れたら洗濯機にポイッと入れて、洗ってまた使えるぞ。



布ティッシュ



フリース
モップ

② フリースモップ

着られなくなったフリースは、床掃除用のモップにして使う。静電気的作用でゴミがよく取れる。モップに丁度あうように切って、何枚も用意する。汚れたらじゃんじゃん取り替えて、洗濯機にポイッと入れる。洗ったらまた使えるぞ。フリースは切ったまんまでもほつれにくいから、布地の端をかがったりしなくても大丈夫。お裁縫が苦手な人でも、切るだけだから安心。



リサイクルとはいえ、できるだけ使い捨て感覚を残してあるのがポイント。でも不思議なもので、こうやって自分で作っておくと、そうそう簡単にポイ捨てしなくなり、丁寧に使うようになる。人間誰しも、自分が手を加えたものはポイ捨てしないものだ。

リペアショップの 東日本大震災復興支援活動報告

自転車修理：木下自転車店

本年3月11日に発生した「東日本大震災」により、多くの方が被災されました。今もなお、ボランティア活動等が被災者の方の支えとなっていますが、本会会員の中にも、「ごみ減量・リサイクル」の力を活動に活かしている方がいます。本号では、リペアショップ(修理のできるお店)として、支援活動を続けている「木下自転車店」の取組みをご紹介します。

店主：木下健司さんからのコメント

「私が、被災された方のために何かできないだろうか？」という考えから、山形大学のボランティアサークル『走れ「わぁ」のチャリ』（代表：植松詩織さん）に声掛けし、この取組みをスタートさせました。まず、山形市社会福祉協議会様のご協力により、廃棄予定自転車31台を譲り受け、私とサークルのメンバー全員で修理を行いました。

修理した自転車は、避難者、被災者を支援するため、山形市内で活動している団体「助け合いネット」さんを通じて、気仙沼の大島の方や被災地から山形市内に避難している方にお渡しさせていただき、喜んで活用していただいております。

今後とも、自転車修理の技術を活かし、この取組みを続けていきたいと思いますので、ご不要になった自転車をお持ちの方、また、自転車を必要としている被災者・避難者をご存じの方は、当店にご相談・ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

連絡先

山形市北山形1-2-21

電話

023-646-8830



問い合わせ・申込み先

「ごみ減量・もったいないねット山形」事務局
山形市ごみ減量推進課内(市役所10階)

〒990-8540 山形市旅籠町二丁目3番25号
Tel 641-1212(内線699) Fax 624-9928
Eメール gomigen@city.yamagata-yamagata.lg.jp
ホームページは、「もったいないねット」で検索